

2006年11月22日

フジテック株式会社
滋賀県彦根市 ビッグウイング

**世界一の「エレベータ研究塔」を有する
フジテックの新拠点“ビッグウイング”が完成！**

フジテック株式会社（本社：滋賀県彦根市 社長：内山 高一）は、滋賀県彦根市と米原市にまたがる約15万㎡の敷地を有する“ビッグウイング”において、今年4月に本社・研究開発部門・生産部門を移転・統合。このたび各施設ならびに世界一の高さとなる「エレベータ研究塔」の完成に伴い、11月22日（水）に、「竣工式」を執り行いました。

本社 移転・統合のねらい

フジテックは、2000年4月に滋賀に工場を建設し、エレベータの生産を行っておりますが、旺盛なマーケット需要に対応するため、生産体制の拡充を図るとともに、商品開発から設計、生産に至るまでの一貫したモノづくりのコア拠点とするため、これまで大阪府茨木市にありました研究開発部門、生産部門、およびコーポレート部門も加え、今年4月、本社を滋賀に移転・統合いたしました。

新生フジテックの最先端拠点として、更なる事業の拡大と発展を目指していきたい、との想いを込めて、“ビッグウイング”と名付けました。

経営資源を滋賀に集中することによって、技術と生産を融合したスピーディーかつスムーズなモノづくりを実践し、世界に先駆けた独創的な新技術・新商品をこの“ビッグウイング”から創出していきたいと考えています。

“ビッグウィング”の施設特長

明るく開放的なオフィス環境

南北方向に210mの直線状に延びた明るく開放的な空間と、東面に配したランドスケープにより、快適で落ち着いたオフィス環境となっています。

本社・商品開発センター、実験棟、Big Wing センター（厚生棟）、それにエレベータ研究塔で構成。ここでは、最新鋭の研究開発設備を活用し、グローバル市場に向けた最先端の技術と商品を開発しています。

世界一の高さと規模を誇る「エレベータ研究塔」

“ビッグウィング”のシンボルとなるのが、地上高さ170mの「エレベータ研究塔」です。これは、エレベータの研究施設として世界一の高さと規模を誇るもので、超高層用と中層用の2つのタワーから成り、13台のエレベータが設置されます。

ここでは、分速1,000m級の超高速機種の実験を始め、新世代エレベータの開発など、最先端技術力の強化を目指しています。

最上階にはスカイロビーを設けています。

性能・品質を徹底追求する「実験棟」

「実験棟」は、電気・電子・機械装置などの要素機器別実験室を設置しています。モータや巻上機の駆動装置実験室を始め、制御盤やプリント板の性能・品質を実証する電気・環境実験室、さらに意匠器具やかご意匠の実物評価が可能な意匠実験室、エレベータをもっと使いやすくするためのユーザー・インターフェース実験室を設けています。

世界初の新駆動システム「タロンドライブ」を設置

エントランスホールには、全面ガラス張りの展望用エレベータ「ベルタ」を設置しています。このエレベータは、フジテックが世界で初めて開発した新駆動システム「タロンドライブ」によって駆動しています。

「タロンドライブ」は従来の駆動システムとは全く異なり、シープにかかるロープを特殊ベルトで押し付けて昇降させるもので、かごの軽量化や省スペース化を実現しています。

生産体制の一元化と生産能力の拡大

新たに「第2工場」が完成したことで、オーダー型エレベータと標準型エレベータの生産体制を一元化し、生産能力の更なる拡大を図っています。

2つの工場を合わせたエレベータの年間生産能力は4,000台となります。

最大限の生産効率化を追求

エレベータの主体製品別に生産ラインを構築し、生産の流れを整流化するとともに、先進のコンピュータ統合生産システムを活用しながら、最大限の効率化を追求するフジテック独自の「FPS(Fujitec Production System)」を導入しています。

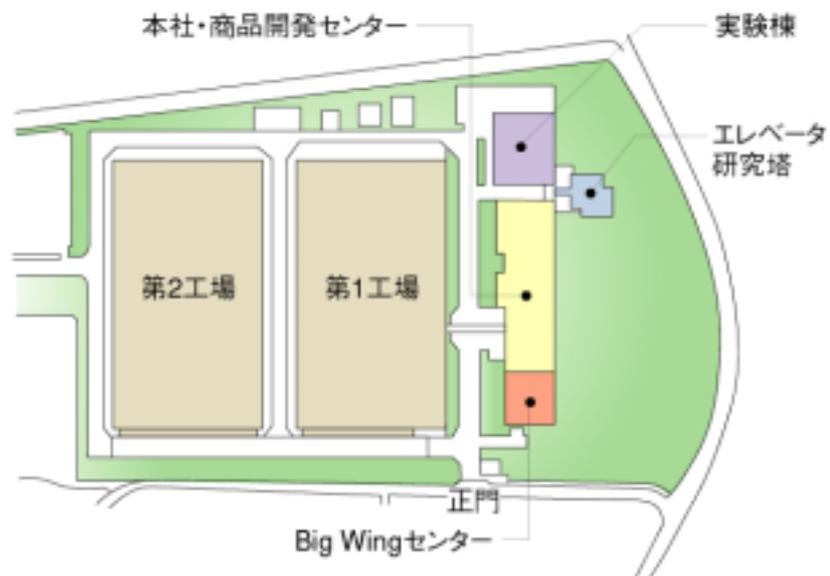
品質保証体制と環境保全活動を推進

製品の高精度化・高信頼性を保証するため、厳密な工程内検査・最終検査を実施し、更なる品質の維持向上に取り組んでいます。また、省エネ対策として氷蓄熱システムや、工場内排水処理システム、塗料のバイオ処理など、積極的な環境保全活動を推進しています。

フィールド部門の更なる技術強化

これまで本社のありました大阪府茨木市の企業拠点は、「フィールド技術研究所」と「フィールド研修センター」として、今年9月より、据付およびメンテナンスの更なる技術向上を図るための施設として活動しています。

以 上



“ビッグウィング”全体配置図



世界一の高さを誇る「エレベータ研究塔」